

令和 8 年度 甲府市 GIGA スクール構想 取組方針

Society 5.0 のさらなる進展に伴い、生成 AI をはじめとする高度な ICT 技術は、社会基盤として定着しつつあります。令和 7 年度までの取り組みにより、教職員の業務効率化やデータ利活用が進みました。令和 8 年度は、この基盤の上に立ち、「児童生徒自身が生成 AI を主体的に利用する」新たなフェーズへの移行を計画します。また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をさらに促進するため、「甲府市 GIGA スクール推進ビジョン」に則り、令和 8 年度 GIGA スクール推進構想の取組方針を示します。

1. 基本目標：「新たな時代の『まなび』を創り、子どもの未来を拓くまち」

「子ども一人ひとりが未来を拓く力を育てる」ことを目的とし、情報活用能力の向上や、教育 DX の取り組みなどを通じて、教育の質的向上を目指します。令和 8 年度は特に、「生成 AI との共創による学びの深化」をキーワードに加えます。

2. 5 つの個別目標に基づいた取組方針

ICT の特長を生かして、誰もが可能性を伸ばせる教育の推進を目指し、児童生徒一人ひとりが新たな時代を創り、明るい未来を拓いていけるよう、5 つの個別目標を掲げます。

個別目標 1：主体的・対話的で深い学びの実現

- ・「甲府スタイルの授業」と生成 AI の融合を目指します。
- ・ICT の特長を生かし、学びの深化を目指します。

<施策・事業の具体策>

- ・児童生徒が主体的に課題解決を行うため、生成 AI を「対話のパートナー」や「アイデアの創出パートナー」として活用し、学びを充実させます。
- ・児童生徒自身が立てた見通しをもとに自己調整力を働かせながら学ぶ「個別学習」と、友達と高め合う「協働学習」のツールとして、ICT を効果的に活用します。
- ・教員が ICT を通じて児童生徒の学びの過程を把握し、一人ひとりに応じた適切な指導・支援を行います。

個別目標 2：個別最適な学びと協働的な学びの一体化

- ・生成 AI や AI 型ドリルを活用し、個々に合わせた指導・支援を推進します。
- ・教育データの蓄積と活用による、授業や学びの様子の実視化を促進します。

＜施策・事業の具体策＞

- ・従来の AI 型ドリルに加え、自身の理解度に合わせて解説を求めたり、課題のヒントを得たりするためのサポーターとしての生成 AI 活用を、段階的に導入します。
- ・蓄積された教育データを分析・実視化し、個別最適で協働的な学びを実現するための授業改善や、教師によるきめ細やかな指導・支援に役立てます。

個別目標 3：いつでも、どこでも、誰とでも学べる環境づくり

- ・オンラインによる交流の促進や、生成 AI を活用した幅広い学びを推進します。
- ・誰もが場所を選ばず学べる環境構築を推進します。

＜施策・事業の具体策＞

- ・オンラインによる他校や外部の専門家等との交流に加え、生成 AI を相手とした英会話練習や議論など、幅広い学びを推進します。
- ・生成 AI を活用した学習サポート、AI 型ドリル、オンライン授業などを組み合わせ、不登校児童生徒を含め、誰もが場所を選ばず安心して学べる環境を整備します。

個別目標 4：タイピングから始めるキャリア教育の推進

- ・思考を止めない早さのタイピングスキル習得を、キャリア形成の土台とします。
- ・英文タイピングスキルの向上を目指します。

＜施策・事業の具体策＞

- ・定期的なタイピング大会の開催やスコアの実視化により、成長を実感できる仕組みを整えます。
- ・グローバル社会に必要なスキルとなる英文タイピング練習の場を新たに提供し、日常的な取り組みを促進します。

個別目標 5：情報モラル教育の強化と生成 AI の活用

- ・児童生徒による生成 AI 利用や、ICT 活用に伴う情報モラル教育を推進します。
- ・「甲府 Teacher's 生成 AI」や汎用的な生成 AI の積極的な利用と、校務 DX を推進します。

＜施策・事業の具体策＞

- ・情報の真偽（ハルシネーション）の確認、著作権、個人情報保護などの情報モラル教育を、学校の教育活動全体を通じて行います。
- ・教職員による校務での積極的な生成 AI の利用や、ICT 活用により校務 DX を推し進め、創出した時間を児童生徒と向き合う大切な時間に充てます。

3. 目標達成に向けた包括的支援

各目標を達成し、取組を実行性のあるものとするため、以下の基盤整備を推進します。

・Kickstart Program における「Gemini 研修」の全教職員受講

Google 社の提供する良質な教職員 ICT 研修である Kickstart Program を活用し、全教職員が生成 AI（Gemini）の効果的な活用法とリテラシーを習得します。

・生成 AI を活用して作成した「アプリ」による業務効率化

生成 AI を活用して作成された「学習アプリ」「校務アプリ」の利用を促進し、現場のニーズに即した教育 DX を加速させます。

・先進的な授業・生成 AI 活用事例の共有

授業や校務での先進的な ICT 活用事例や、教職員・児童生徒による生成 AI 活用事例などを市内で共有し、全体の質の底上げを図ります。

・外部リソースとの連携

Google 社のリファレンス・プログラムへの参加や、大学・民間機関とのパートナーシップを強化し、外部リソースの積極的な活用を図ります。